

平成 25 年度の成果

プログラムの目的のため、3 科目を行い、1 科目を休講とした。

(1) 国際研究集会企画演習

大学院生が中心となり小規模の国際研究集会を企画・立案・実行した。

1. Development and Performance Evaluation of Particle Detectors

企画担当 留目和輝、シャランコバ ラリツツア

(平成 26 年 1 月 8 日) 約 15 名参加

(2) 国際研究実地演習

大学院生を外国の主要な研究機関の現場等へ派遣し、国際的な環境の中で研究を発展させる。あるいは、外国での学会に参加し研究発表するのを支援する。

派遣は 6 名で、派遣先内訳は、アメリカ 3 名、オーストラリア 1 名、スイス 1 名、フランス 1 名

(3) 研究企画演習

今年度は休講とした。

(4) 英語理学講義

外国人講師 2 名を招聘し、以下のタイトルで英語による講義を行った。今年度より 1 名あたり 3 - 4 コマの集中講義形式としたところ、履修者の増加がみられた。

1. Shell structure from single-particle to collective low-energy excitations, from a direct reaction perspective. (Alexandre Obertelli 氏、CEA Saclay, DSM/IRFU/Service de Physique Nucléaire) 2014/1/7, 1/9 (計 4 コマ)

2. Graphene: electrons on a honeycomb lattice

(Patrik Recher 氏、Technische Universitat Braunschweig) 2014/1/15, 1/20 (計 3 コマ)

(5) 上記の 3 科目に加えて、FGIP: Foreign Graduate Students Invitation Program を行った。

外国の博士課程の大学院生を招聘して、日本人大学院生との共同研究を支援した。

招聘は合計 2 名で、フランスから 2 名である。